

## 施策評価調書(3年度実績)

				施策コード	Ⅱ-3-(2)		
政策体系	施策名	おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業の経営力強化	所管部局名	商工観光労働部		長期総合計画頁	97
	政策名	地域が輝くツーリズムの推進と観光産業の振興	関係部局名	商工観光労働部、生活環境部、土木建築部			

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	観光産業の経営力強化	おんせん県ならではの素材磨きと観光消費の拡大	観光産業を担う人材の確保・育成とネットワークづくり	安全・安心で快適な受入態勢の整備
取組No.	⑤			
取組項目	景観の保全・再生とツーリズム基盤の整備			

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125							
i	観光入込客数(千人)	①②③ ④⑤	H25	17,563	20,600	13,687	66.4%	20,950												
ii	観光消費額(億円)	②	H25	2,072	2,492	1,275	51.2%	2,600												

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等		平均評価
i	著しく不十分	宿泊割引(県内及び隣県)による需要喚起やポストコロナを見据えた観光素材磨きを行ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う移動の制限などにより目標を達成することができなかった。		著しく不十分
ii	著しく不十分	宿泊割引(県内及び隣県)による需要喚起やポストコロナを見据えた観光素材磨きを行ったものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う移動の制限などにより目標を達成することができなかった。		

#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設の経営課題解決に繋がる新しい旅のかたちへの対応や生産性向上の取り組みを15件支援し、経営力の向上を推進した。</li> <li>・宿泊事業者が行う感染症対策の徹底や、ワーケーション等新たな需要に対応する取り組みを510件支援し、県内宿泊施設の受入環境整備を図った。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光消費額の向上に寄与する有料の体験型コンテンツを7件創出した他、県内周遊を促進するため観光案内所の連携を促進した。</li> <li>・重要文化的景観の取り組みやガイド活動等が高く評価され、R4.1に日本ジオパークに再認定された。</li> <li>・ユネスコエコパークの認知度向上のため、オフィシャルアーティストによる情報発信を行うとともに、自然散策路のコースマップや紹介動画を制作し誘客拡大を図った。</li> </ul>
③④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語コールセンターの充実を図り、コロナ収束後も外国人観光客が安心して訪れることのできる態勢を強化した。</li> <li>・観光・地域づくりを担う人材の育成を目指すおおいたツーリズム大学の修了生が累計342名となった。(R3年度新規修了生20名)</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊後高田国東線(一畑2工区)、飯田高原中村線(河内3・二俣木工区)等の観光ルートの整備を推進した。</li> </ul>

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	宿泊業経営力強化事業	100.0	242
	宿泊施設受入環境整備緊急支援事業	—	242
②	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	167.7	65
	おおいたジオパーク推進事業	56.0	65
	観光消費促進事業	70.0	242
③④	おもてなし人材育成事業	1.5	243
⑤	(公)道路改良事業	—	366

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県ツーリズム戦略会議(R3.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナがあったからこそ気づくことができた県内観光の重要性を伝えていきたい。</li> <li>・新しい観光素材として宇宙港やホーバークラフトの活用が必要となる。</li> <li>・アウトドアガイドの育成により自然を利用した体験が有償でも受け入れられる環境をつくりたい。</li> </ul>	
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けしっかりと計画をもって取り組む宿泊業者を支援するほか、地域単位で宿泊業者が連携して課題解決に挑戦する動きも支援していく。</li> <li>・SUPヨガ体験や薬草蒸しテントサウナ体験などの観光サービスをさらに増やすとともに、観光案内所や宿泊業者などを通じて県内の滞在時間延長を促進する仕組みを構築する。</li> <li>・地域を牽引するリーダーを育成するため、おおいたツーリズム大学において実践例の体験や各地の取り組みを題材に議論を行うなど、県内外での講義を実施していく。</li> <li>・観光関連施設及び設備の点検実施により、観光客等の安全、快適な環境づくりに努める。</li> <li>・ジオパークの体験ワークショップイベント等の実施による情報発信を行い、さらなる認知度向上や誘客拡大を図る。</li> <li>・エコパークで生産された米のブランド化や宿泊施設の改修等への支援により、さらなる認知度向上や誘客拡大を図る。</li> </ul>